

講演会

高次脳機能障害を生きる

～当事者と家族～

2016年 10月30日[日] 午後1時～4時

東京・浜離宮朝日ホール 東京都中央区築地5-3-2 (電話03-5540-7446)

■定員／400人(先着順) ■参加費／1人 1,000円(当日会場で)

主催 社会福祉法人 朝日新聞厚生文化事業団

後援 NPO法人 日本脳外傷友の会／NPO法人 東京高次脳機能障害協議会／公益財団法人 大同生命厚生事業団



高次脳機能障害とその家族を
どのように支援すればよいのでしょうか？
交通事故や病気で受傷することで、
当事者や家族が障害とどのように向き合えばよいのかを
支援者とともに考えます。

高次脳機能障害を生きる ～当事者と家族～

プログラム

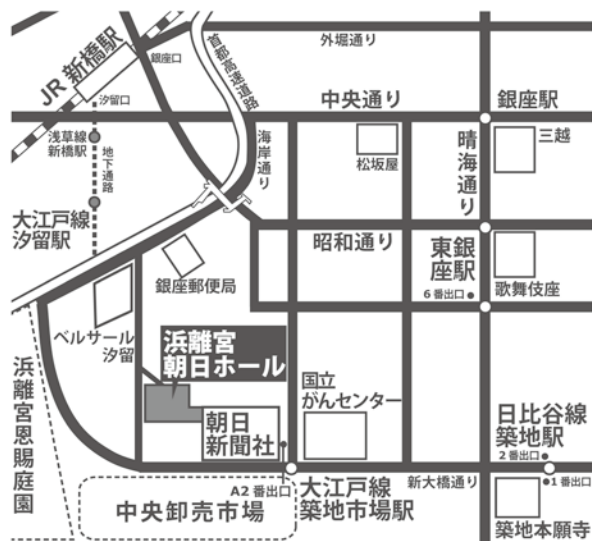
- 13:00-14:10 基調講演
『当事者と家族への理解と支援』
上田 敏さん
休 憩
- 14:25-15:05 『私の言いたいこと』
小林 春彦さん 石黒 順子さん
- 15:05-16:00 鼎談
『見えない障害と生きる』
小林 春彦さん 石黒 順子さん
橋本 圭司さん

■交通アクセス

都営大江戸線「築地市場駅」A2番出口すぐ

その他の交通

- 「築地駅」東京メトロ日比谷線（1、2番出口）より徒歩8分
「東銀座駅」東京メトロ日比谷線／都営浅草線（6番出口）より徒歩8分
「汐留駅」都営大江戸線（新橋駅方面改札口）
新交通ゆりかもめ（改札口）より徒歩10分
「新橋駅」JR（汐留口）／東京メトロ銀座線（1、2番出口）
都営浅草線（改札口）より徒歩15分



※ホールには駐車場はありません。近隣の有料駐車場をご利用ください。

申込方法

参加希望のすべての方の ①お名前（ふりがな）②〒・住所 ③TEL・FAX ④職業を明記の上、右記までFAXかはがき、メールのいずれかでお申し込みください。
ホームページからも申し込みができます。
申し込み受け付け後、聴講券をお送りします。参加費（1,000円）は、当日会場でお支払いください。

講師・パネラーのご紹介

うえだ さとし
上田 敏さん

日本障害者リハビリテーション協会顧問

1956年 東京大学医学部卒業。内科・神経内科を研修
1960年 浴風会病院で高齢者のリハビリテーション（以下リハ）に従事
1964年 ニューヨーク大学留学
1965年 東大病院リハ部専属医。助手、講師を経て、
1984年 東京大学教授
1987年 日本リハ医学会会長
1992-99年 帝京大学教授、帝京平成大学教授等を歴任
1997-99年 国際リハ医学会会長
現在、日本福祉大学客員教授、日本障害者リハ協会顧問

はしもと けいじ
橋本 圭司さん

はしもとクリニック経堂院長

1998年東京慈恵会医科大学卒業。東京都リハビリテーション病院、神奈川リハビリテーション病院、東京慈恵会医科大学附属病院などで、数多くの高次脳機能障害の人の治療を経験。2009年国立成育医療研究センター・リハビリテーション科医長、2016年はしもとクリニック経堂院長。NPO法人高次脳機能障害支援ネット理事長としても活動している。

こばやし はるひこ
小林 春彦さん

高次脳機能障害当事者

（東京大学先端科学センター「DO-IT Japan」リーダー）

2005年5月、「右中大脳動脈閉塞症・広範囲脳梗塞」を発症し高次脳機能障害に。3年の闘病生活を経て半身不随など一部の障害を克服するが、外見からは困難がわからない障害に苦しむ。現在東京大学先端科学センター「DO-IT」リーダーとして全国で講演会活動を行っている。著書にベストセラーとなった「18歳のビッグバン～見えない障害を抱えて生きること」（2015年あけび書房）

いしぐろ じゅんこ
石黒 順子さん

高次脳機能障害当事者（高校事務員）

2000年、22歳の時、犬と散歩中に、車にはねられる。右後頭部を損傷し、40日間意識不明の重体になる。家業の割烹料理店を手伝うことがリハビリにつながる。その後、パン屋、病院事務、建設会社の事務を経験。半年間、介護職員基礎研修後、3年間、高齢者施設に勤務。現在は高校の事務員として4年目になる。

■申込先／お問い合わせは

〒104-8011 東京都中央区築地5-3-2
朝日新聞厚生文化事業団「高次脳」係
Tel.03-5540-7446 Fax.03-5565-1643
E-mail: kojino-t@asahi-welfare.or.jp
<http://www.asahi-welfare.or.jp>

主催 社会福祉法人 朝日新聞厚生文化事業団